



ASK
FOR YOUR
IDEA

ASK
FOR YOUR
IDEA

ASK FOR YOUR IDEA

あなたらしさを カタチに

福祉業界で働く。

それは、あなた「らしさ」を、誰かの生きる力に変えること。
あなたが好きなこと、得意なこと、熱中できること、
そして、個々の持つ人間性。
それらはすべて、奉優会で輝くあなた「らしさ」です。
その「らしさ」を十分に発揮していただくために、
あなたのアイデアを聞かせてください。

奉優会はどんなアイデアにも耳を傾け、
すべての人の「らしさ」が活きる
福祉サービスをめざします。



Contents



Side A

03 奉優会ってどんなところ？
働きやすさを叶える奉優会のIDEA



05 奉優会に入職して気づいた
13のこと



07 My career up!



09 ダイバーシティ&インクルージョン



07 教育研修プログラム



05 事業概要・サービス案内



03 DATAで見る奉優会



Side B

01 Top Interview/法人概要/事業体制



アイデアは「考え、着想、発想」を指すが、プラトン*はアイデアという言葉で我々の肉眼に見える形ではなく、「心の目」「魂の目」によって洞察される純粋な形、つまり「ものごとの真の姿」や「ものごとの原型」に言及した。奉優会では皆さんのIDEAを大切に、これからの社会のありかたを創り上げていきたいと考えています。

*プラトン：紀元前4世紀頃の古代ギリシアの哲学者で、ソクラテスの弟子であり、アリストテレスの師。代表的な思想・考え方として理想的な世界「イデア論」が挙げられる。

奉優会ってどんなところ？

働きやすさを

叶える

奉優会のIDEA

利用者様だけでなく、職員にとっても心地良い場所へと進化している奉優会。奉優会の「IDEA」で、さまざまな特性を持った職員全員が輝ける環境をつくっています。



IDEA 01

職員
の
アイ
デア
を
積
極
的
に
採
用
！



国立大農学部出身の知識を活かして
施設にブランド米を導入！

入社3年目のデイサービスの介護職をしていた時に、食事にブランド米を導入する企画を提案しました。当時はコロナ禍で季節のイベントが開催できなかったため、自分にできることで利用者様に楽しんでもらいたいと思ったのがきっかけです。私は国立大学の農学部出身。学生時代に培った知識を活かして選んだブランド米は「つや姫」です。実際に米農家に伺ってその特長やこだわりを聞き、導入を決めました。いつもと違う美味しさに気づいてくださる利用者様も多く、今では施設の定番となりました。奉優会は若手職員がアイデアを出しやすい環境なのはもちろん、どうしたら実現できるか一緒に考えてくれる法人だと感じます。



今は現場を離れ、本部で新規施設の整備などを担当しています。現場での経験があるからこそ、施設を利用される方、働く職員のことをイメージしながら施設づくりの仕事ができていると感じます。

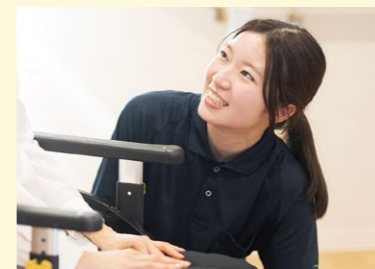
星 正紀

HOSHI MASAKI
2019年入社

さまざまな施設・事業を展開しているから

目標が変わっても
チャレンジできる

私の目標は、地域包括支援センターの相談員になることです。福祉系大学出身の私は、実習で施設への入居を拒否している方のお宅に伺うこともありました。壮絶な現場を経験するうちに、事情のある方には地域のサポートが必要だと感じ、高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センターの相談員をめざすように。中でも奉優会を志望したのは、選択の幅が広いと感じたから。介護福祉施設の運営だけでなく、さまざまな施設・事業を展開しており、将来進みたい道が変わっても法人内でチャレンジが可能です。どんな道に進んでも、それぞれの事情を抱える方々に寄り添いたいと思います。



現在配属されているのは常に介護が必要な方が入居する特別養護老人ホーム。「その人らしい生活」ができるよう、それぞれの利用者様に寄り添ったケアを心がけています。

IDEA 02

多彩な事業展開で
幅広いキャリアが
選択可能！

今井 凜

IMAI RIN
2021年入社

IDEA 03

手厚い研修で、
介護職デビューを
サポート！

入社後6年間にわたる研修で
技術だけでなく
経営視点も身につける

奉優会では、入社後1ヶ月間の新卒導入研修と、1年6ヶ月間毎月の新卒定期研修が用意されています。その後は半年ごとにフォローアップ研修があり、6年目まで続きます。介護に関する基本的な知識はもちろん、マーケティングなど経営の視点も学ぶことができ、興味深い内容です。年次が上がるごとに増える課題を解決するプログラムが組み込まれているので、キャリアアップの過程でも役立つ研修だと思っています。また、高齢者に関わるうえで、「職員主導にならない」という心がけについても学びました。利用者様からのお願いを職員の都合で断ってしまっていないか？ということ意識しながらケアにあたっています。



一番印象に残っているのは、新卒導入研修の終盤に行われた2泊3日の宿泊研修。チームでケアを行うということについて学べましたし、同期との距離がぐっと近づいたと感じました。

泉谷 寛喜

IZUTANI KANKI
2022年入社

01 採用



福祉業界を盛り上げる
志を持った仲間たち

学歴・経歴は無関係。それぞれの想いを抱えた新入職員たちですが、福祉業界を盛り上げたいという志は同じです。

02 新卒 導入研修



1ヶ月間の研修で
視野を広げる

さまざまな視点を身につけられる奉優会の研修プログラム。介護技術知識や社会人としての基礎を学んでいきます。

03 仲間たち



仲間たちが輝いているから
自分も頑張れる

研修期間を共に過ごした同期たち。配属後もそれぞれの場所で輝く仲間たちとは、刺激し合える関係に。

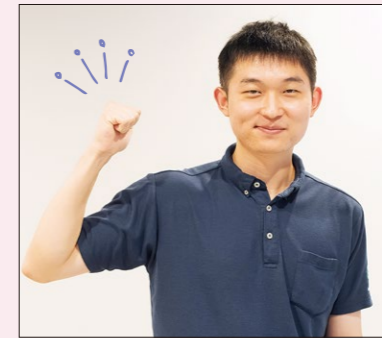
07 外国籍職員



国籍は関係ない！
グローバルな職場環境

奉優会には外国籍職員も多く在籍しています。異文化コミュニケーションは刺激的ですし、何より視野が広がります。

08 成長を実感



日々の経験すべてが
自分の強みとなっていく

施設での毎日は、新鮮な出来事の連続。その経験すべてが糧となり、職員一人ひとりの自信をつくっていくのです。

09 心を通わせる



介護は人と人とのつながり
想いを込めれば必ず通じる

職員と利用者様といえども、あくまで人と人。日々の誠実な対応はお互いの心を通わせ、信頼関係を築きます。

奉優会に入職して気づいた

13のこと

皆さんにとって福祉業界の仕事現場は、
どんなイメージでしょうか？
奉優会で過ごす毎日はずっと新鮮です。
日々気づきに溢れる
奉優会の内側をお見せします。



10 プライベート

仕事もプライベートも
充実させられる環境

奉優会の年間休日数は122日。プライベートは思いっきり楽しみ、仕事もしっかり頑張れる環境です。



04 プリセプター



先輩職員の専属指導
なんでも相談できる存在に

配属後1年間、先輩職員が専属でサポートしてくれるプリセプター制度。悩みを気軽に相談できる心強い存在です。

05 東京で働く



東京に根差し、
地域の福祉を支える

奉優会の施設の大半は東京都内。交通アクセスの良い施設ばかりです。

06 初めての現場



利用者様の生活を
チームでサポートしていく

初めての現場は緊張しますが、先輩職員がサポートするから大丈夫。チーム一丸で利用者様の生活を支えています。

11 私たちが 変える



自分が福祉業界を
変えていくという意識

若手のアイデアを積極的に採用している奉優会。職員一人ひとりがこの業界を盛り上げる意識を持っています。

12 利用者様と お出かけ



普段と違う環境は
知らない一面を見せてくれる

時には利用者様とお出かけすることも。環境が変わると知らない一面を見せてくれることもあり、嬉しくなります。

13 キャリアアップ



それぞれの経験と想いを胸に
キャリアを選択する

現場のスペシャリストとなるか、管理者の道に進むか。キャリアの選択が幅広いのも奉優会の特徴です。

My career up!

奉優会には、さまざまなキャリアを積んで輝く先輩職員が多くいます。若いうちから役職者として活躍したり、育児をしながら更なるキャリアアップをめざすことも可能です。一人ひとりが思い描くキャリアを実現できる環境が整っています。



CASE01

さまざまな施設での経験を活かし、若手課長として部下のマネジメントに奮闘中です。

現場スペシャリスト

小峰 璃久

KOMINE RIKU 2019年入職

奉優会に入職後、デイサービス、特養と、異なるサービスで経験を積んできました。現在は、特養やグループホームなどを運営する複合介護施設の課長を務めています。奉優会には多くの若手役職者がいますが、私はその中でも最若手の課長。約20名の部下を抱えています。年齢の近い部下も多いので、相談しやすい存在として壁をつくらないように心がけています。今はまだ、職員をまとめることに慣れていませんが、今後も挑戦を続け、成長していきたいです。

OFF TIME



大好きなバンドのライブに行くのが休日の気分転換！

ずっと気になっていたバンドのライブに通っています！気持ちに寄り添ってくれる歌詞が大好きです。

入職4年目

新規施設に異動
課長として職員をまとめる

奉優会が新しく運営を担う施設に異動。今まであまり経験してこなかった、職員をまとめる立場に挑戦しています。

入職3年目

ユニットケアに特化した特養に異動

利用者様一人ひとりに合った介助方法を学び、この時期に自分の中の介護の基本軸ができたと感じます。

入職1年目

デイサービスに配属
介助方法の基礎を学ぶ

入職前は医療事務の学校に通っており、介護はまったくの初心者。利用者様との関わりの中で基礎を学びました。

CASE02

高齢者がより良い暮らしを送るため、地域の相談窓口で生活上の悩みなどをお聞きしています。

相談支援スペシャリスト

新聞 章子

SHIMMA AYAKO 2008年入職

地域包括支援センターとは、高齢者の健康や生活全般に関する相談を受け付ける、地域密着型の総合相談窓口。市区町村が運営しており、奉優会は運営団体として委託を受けています。日々さまざまな相談が持ち込まれますが、地域の高齢者から生活をするうえでの不安を相談いただき、利用できる介護サービスを紹介するケースが多いです。福祉業界という食事や入浴の介助など現場での業務をイメージすると思いますが、相談業務を主として行う施設があることも知っていただきたいです。

OFF TIME



夫と一緒にバンドで演奏活動をしています

出産後は子ども中心の生活に。以前から所属しているバンドでサックスを吹いたりもしています。

入職6年目

地域包括支援センターに異動
地域から高齢者福祉を支える

当初からめざしていた相談支援スペシャリストに。地域住民からの相談対応や、ケアプランの作成などを行っています。

入職3年目

事務・相談業務を担当する相談員に転向

入職前に取得していた社会福祉士の資格を活かし、デイサービスの窓口役となる相談員に転向しました。

入職1年目

デイサービスで
介護現場のノウハウを学ぶ

介護の専門学校に通っていたので基礎知識はありましたが、現場はまた別物。生きた介護のノウハウを学びました。

CASE 03

育児中職員

休暇の取りやすさだけでなく
子育てへの前向きさを感じる職場です。

生活相談員 市宮 奈那江

ICHIMIYA NANAE 2015年入職

昨年産休・育休から復帰し、現在は生活相談員として9時から16時までの時短勤務をしています。奉優会にはパパ・ママにありがたい制度がたくさんありますが、中でも育休中職員向けのオンラインイベントは、育休中の私でも職場の雰囲気を知ることができて安心しました。子どもが体調を崩した時の看護休暇など休みが取りやすいので、復帰後も無理なく働いています。



入職 1年目

特養に配属され、
介護職として従事

常に介護が必要な方が入居する特養に3年間勤務。介護福祉の基礎を学ぶことができました。

入職 4年目

入職前よりめざしていた
生活相談員に転向

生活相談員とは、施設の受付で利用者様のご家族や入居希望の方の対応をする職員。「施設の顔」といわれています。

入職 8年目

産休・育休を経て復職
相談員としてのキャリアは継続

復職前には上司との面談があり、配属先などの希望を聞いてもらえます。私は産休前と同じ施設に復職しました。

CASE 04

外国籍職員(留学生)

言語に不安のある職員も
安心して働ける配慮が行き届いています。

介護職 マ・ラクリン

MA LUOLIN 2020年入職

日本はアジアの介護先進国。今後高齢社会となる中国で介護施設を運営する夢のために、奉優会で知識を学んでいます。私は日本に来て7年目ですが、まだ言語の壁を感じるがあります。奉優会には、日本語講座や定型文を選択するだけで完成する仕組みの日報など外国籍職員への配慮があり、言葉に不安がある方でも安心して働くことができると感じます。



入職 1年目

介護職として
特養でユニットケアを担当

配属されたのは、自宅のような環境で利用者様のケアを行う「ユニットケア」に力を入れている施設でした。

入職 2年目

足りなくなった
物品を注文する係に

1年目から担当している一般的な介護業務に加え、消耗品を管理し、不足がないように注文する係を任せられました。

入職 4年目

主任に昇格し、
新人の育成を任せられるように

主任になってからは職員のシフトの作成、月に1回ほどの新人職員の面談を担当するようになりました。

私たちが、
変わっていく。

GLOCAL
WORK
SPACE

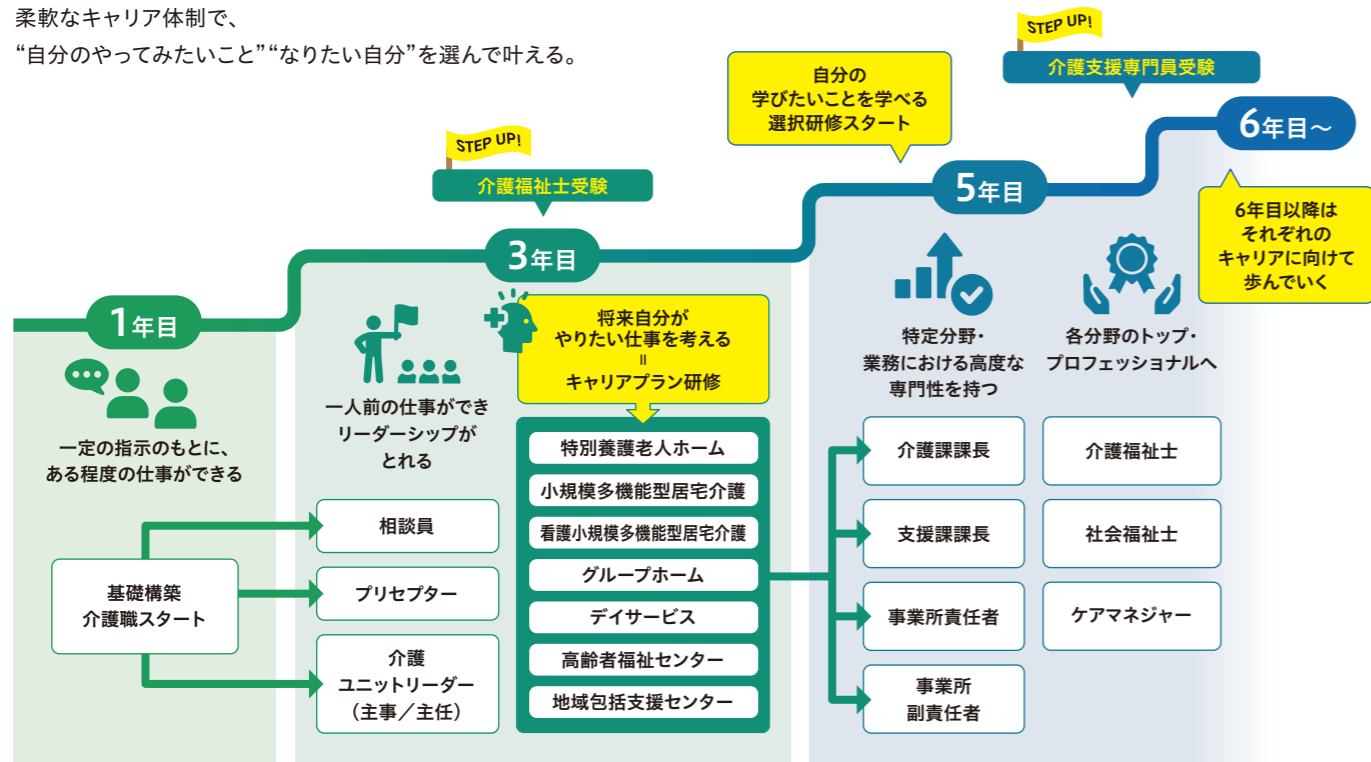
CAFE & COWORKING SPACE

MEGURO

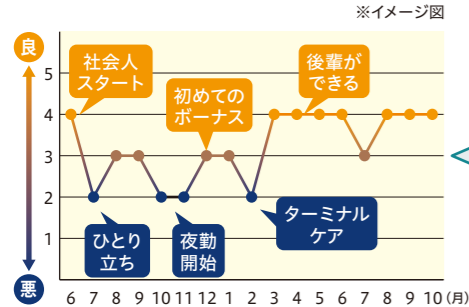
- SINCE 2019 -

自律型キャリアの展開

柔軟なキャリア体制で、
“自分のやってみたいこと”“なりたい自分”を選んで叶える。



新卒のサポート体制 定期的に気持ちの変化を振り返る機会があります。



Care 01 多彩な相談窓口

経験豊富な職員や上長が、仕事の進め方やアドバイスをもとに解決策を探します。

Care 02 ヒアリングシートの実施

毎月ヒアリングシートを実施し、新卒職員の悩みなど心の変化をチェックしています。

Care 03 新卒2年目の秋まで毎月研修

入社後から新卒2年目の秋まで毎月研修を実施しています。2年目以降も6年目まで半年ごとにさまざまな研修を行い、普段会えない仲間ともディスカッションできます。

各種研修制度



新卒導入研修

入社してから約1ヶ月間の集合研修を行います。法人の概要から始まり、介護技術研修、社会人に必要なマナー研修、現場研修などさまざまなことを学びます。



OJT研修

実際の業務を通じて学び成長していくOn-The-Job Trainingです。プリセプター制度のもと、1人の新入職員に1人以上の先輩職員がプリセプターとして1年間寄り添います。仕事以外の悩みなどもプリセプターの先輩と一緒に解決してくれます。



新卒定期研修

現場に配属されてからも、1年6ヶ月間は毎月集合研修を行います。介護保険制度、認知症、機能訓練、ターミナルケアなどの専門知識研修は、法人内のプロフェッショナルが講師となります。



新卒フォローアップ研修

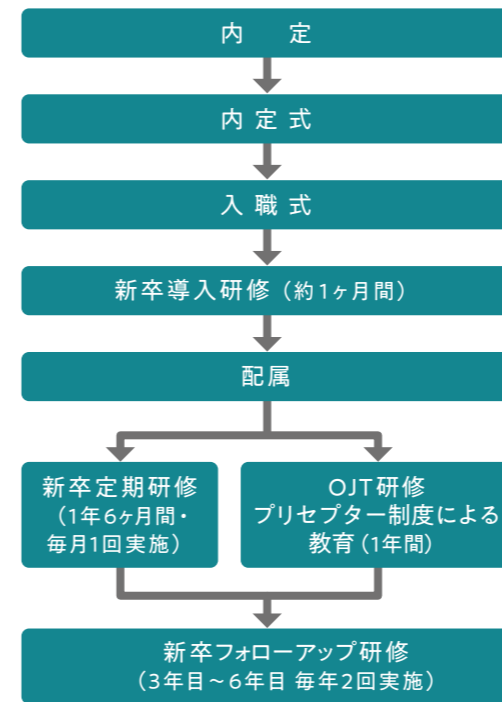
1年6ヶ月間の研修が終了しても、新卒3年目から6年目までは、年に2回集合研修を実施。成長できるチャンスは常にあります。同期・先輩・後輩の顔を見て、情報交換できるのが安心です。

新入職員教育

入社後の新入職員は、約1ヶ月間の研修で社会人と介護の基礎を学んだあと、配属となります。配属後も定期的に研修があるだけでなく、配属先の先輩職員がプリセプターとして日々の業務をサポートします。万全の教育体制で、介護福祉を専門に学んでいない方でも活躍することができています。



内定～新入職員教育の流れ



プリセプター制度とは

新卒1年目の職員(プリセプティール)1人に対し、1人以上の先輩職員(プリセプター)が成長支援を担当する教育制度です。プリセプター制度は、1年目の新卒職員を対象に実施されます。プリセプターに任命された先輩職員は「プリセプター研修」を受講して新入職員に寄り添い、日々サポートしてくれます。また、この制度はプリセプティールである新卒1年目の職員だけでなく、プリセプターである先輩職員にとっても「人に教えること」を通じて、自分自身の知識や技術を見直し、皆でステップアップをしていくための良い機会にもなります。



研修プログラムマップ

		HOUYUKAI/OFF-JT PROGRAM						
		キャリアアップ研修		目的別研修			外部研修	
				本部研修	専門職 主催研修	外国籍研修	特養・優つくり 通所 公サ 地域包括	
6・5年級	統括課長・課長 事業所責任者	必修研修 新任管理職研修 初級・中級・上級研修	現任管理職研修	若手ビジネスリーダー研修	社会福祉施設施設長研修		課長研修	マネジメントスキル マーケティングスキル 人材育成スキル
4・3年級等	主任・主事 副責任者	必修研修 GRAD-SENIOR (年2回) GRAD-JUNIOR (年2回) GRAD-SECOND (4~9月) GRAD-FIRST (5~3月) NEW-GRAD (4月) 合宿研修 (4月)	導入研修 プリセプター研修 キャリアアップ研修 CAREER-FIRST (採用時研修) CAREER-THIRD (3ヶ月後研修) CAREER-THIRD (半年後研修) CAREER-FIRST (採用時研修)	介護職 看護職 相談員 ケアマネ 栄養士 機能訓練	日本福祉ビジネス研修 キャリアアップ研修		主事・主任研修	リーダーシップ マネジメントの基礎 レベル別スキルアップ
2年級	正職員 一般	必修研修 NEW-GRAD (4月) 合宿研修 (4月)		介護福祉士受験対策講座 介護支援専門員受験対策講座 介護福祉士受験対策講座	介護福祉士受験対策講座 介護支援専門員受験対策講座 介護福祉士受験対策講座		優つくりトレーニング研修 介護職全体研修	レベル別ビジネススキル ビジネスマナー研修
1年級	契約A 一般				介護福祉士受験対策講座 介護支援専門員受験対策講座 介護福祉士受験対策講座		介護職全体研修 優つくりトレーニング研修	ビジネスマナー研修 業務に必要な基本的介護技術
契約B/C								

教育研修プログラム

豊富な研修制度やプログラムを用意しています。日々お互いにサポートし合いながら、充実した時間を過ごすとともに、奉優会のサービスの充実と法人の成長を皆でカタチにしていきたいと思います。

「らしさをカタチに」するための暮らしを大切にしています。奉優会は非常に幅広い事業・サービスを展開し、

その他サービス事業



ファミリー・サポート・センター事業

子どもの送迎や預かりなど、育児の援助を受けたい人と援助を行いたい人の相互援助活動に関する連絡、調整を行うサービスです。

区民センター

展示ギャラリーやホール、防音仕様の音楽スタジオのほか、区民の皆さんの多様なニーズに対応できる設備を備えています。区民の相互交流と自主的活動の促進を支援しています。

就労支援施設

人生100年時代に向けた新たな活動拠点として、「就労」と「社会参加」につながる高齢者のいきがづくり支援を行っています。

コミュニティカフェ

当法人のコミュニティカフェは、子どもから高齢者まで誰でもご利用いただけるカフェです。手づくりランチや淹れたてコーヒーを提供、地域交流イベントの開催、地域福祉活動の支援などを通し、地域の活性化と地域福祉の向上に積極的に取り組んでいます。

事業所内保育事業

事業所内保育事業は、事業所が主体となって、その事業所の職員の児童を対象に開設した保育所に、地域の保育を必要とする子どもの保育(地域枠)を設けて実施するものです。

法人後見人事業

社会福祉法人等の法人が成年後見人、保佐人または補助人となり、判断能力が不十分な方の保護・支援を行う制度です。

ショートステイ

特別養護老人ホームに短期間入所してもらい、在宅主治医と看護職員の連携、機能訓練士等によるリハビリなど日常生活の支援を行うサービスです。一定期間、介護から解放される利用者様家族にとって、自分の時間を持つことができたり介護負担の軽減を図ることができます。また利用者様家族の病気や冠婚葬祭、出張などで一時的に在宅介護が困難な時にも役立ちます。

ケアハウス

自炊ができない程度の高齢者を対象とした、軽費老人ホームです。ダイニングルームでの食事の提供や、生活相談等も受けられます。入浴は共同浴室を利用します。居室は手すりの設置や段差解消等、高齢者の生活に配慮した設計で、緊急通報装置も完備されています。

デイサービス

地域の高齢者の方々を対象にさまざまな活動を通して生活能力の維持回復を図るとともに、安定した日常生活を過ごすことができるように援助することを目的としています。

認知症対応型デイサービス

デイサービスセンターにおいて、通所してきた認知症の利用者様に対して、入浴、排せつ、食事等の介助や生活等に関する相談、健康状態の確認、機能訓練(リハビリテーション)等を行います。

地域ケアプラザ

地域ケアプラザでは、高齢者、子ども、障害のある人など誰もが地域で安心して暮らせるよう、身近な福祉・保健の拠点としてさまざまな取り組みを行っています。

認知症高齢者グループホーム

認知症の高齢者が共同で生活する住居において、入浴、排せつ、食事等の介助、その他の日常生活上の支援を行います。少人数(5~9人)の家庭的な雰囲気の中で、症状の進行を遅らせて、できる限り自立した生活が送れるようになることをめざします。

小規模多機能型居宅介護

在宅生活を安心して続けられるよう、24時間365日切れ目のないサービスを馴染みの職員が、馴染みの場所で提供いたします。家族とその方の状況に合わせ、専属のケアマネジャーが随時プランを変更することができます。介護サービスを使っても今までの地域とのつながりがきれないように支援します。

看護小規模多機能型居宅介護

看護ケアを中心に、通い、泊まり、訪問のサービスを組み合わせ、自宅での生活が安心して継続できるようなサービスを提供いたします。専属ケアマネジャーが個人に合ったケアプランをご提案します。

居宅介護支援事業

介護支援専門員(ケアマネジャー)が利用者様の立場に立って、介護を必要とする生活について相談援助を行います。必要なサービスを総合的に提供する連携体制の構築で、利用者様の状態とサービスの状況を継続的に把握し、自立した生活を支援します。

介護予防センター

介護予防の情報発信ならびに、理学療法士や管理栄養士等の専門職員が、機能訓練や栄養改善教室などの講座を実施する施設です。

介護事業



特別養護老人ホーム

寝たきりや認知症などで、常に介護が必要で自宅での生活が難しい方のための施設です。入所により、入浴・排せつ・食事などの介助、機能訓練、健康管理、療養上の支援などが受けられます。また、定員29人以下の小規模で運営される地域密着型介護老人福祉施設もあり、少人数の入所者に対して介護老人福祉施設と同様のサービスを提供します。



高齢者福祉センター

健康の増進、教養の向上、各種相談、およびボランティア活動の支援等を行っています。各地域の特性やニーズを理解し、区民の多様な活動や相互交流を促進することで、地域総活躍社会を実現します。



地域包括支援センター

地域包括支援センターは、地域の特性に合わせた、身近な福祉の相談窓口として、住民の皆さんの「安心できる地域生活」を支えていく使命を担っています。また、センターの職員は、「福祉・保健・医療」に精通した専門職です。知識と経験を活かし、地域のネットワークも活用しながら利用者様のご相談に応じています。



地域別事業所数

奉優会は、都内を中心に140ヶ所を超える事業所を運営しています。

■世田谷区	26	■江東区	6	■北区	5
■港区	13	■中野区	8	■墨田区	3
■目黒区	7	■板橋区	11	■豊島区	3
■杉並区	8	■文京区	3	■神奈川県横浜市	8
■練馬区	6	■千代田区	3	■神奈川県川崎市	2
■渋谷区	12	■足立区	2	■埼玉県ふじみ野市	1
■新宿区	6	■荒川区	6		
■中央区	6	■町田市	2		

2024年2月1日時点



休日休暇数

年間 **122** 日

月10日または4週8休制(配属先による)。有給休暇は別途付与されます。



外国籍職員数

366 人

奉優会では国籍を問わず、多くの外国籍職員が活躍しています。



事業所数

147 ヶ所

奉優会が運営する事業所は、都内を中心に147ヶ所。さまざまなニーズに応えるサービスを提供しています。

職員数

2,772 人

職員数は2,772人の規模。介護職員をはじめ幅広い職種の職員が活躍しています。



研修制度・プログラム数

全 **126** 種類

奉優会では、より充実したキャリアプランを職員が描けるよう、さまざまな研修制度・プログラムを用意しています。自分自身のらしさをカタチにするためにキャリアアップに挑戦する職員も多くいます。



育児休業取得率

96%

仕事と子育てが両立できる選択肢のある職場です。男性の育児休業取得者も多く、取得平均日数は2ヶ月以上。半年程度取得している男性職員もいます。



職員数男女比

3:7

奉優会の職員の7割は女性。管理職も多くの女性職員が務めています。今後も女性がのびのびと活躍できる環境を整えていきます。



新卒3年目以上の役職者人数

主事

9%

主任

43%

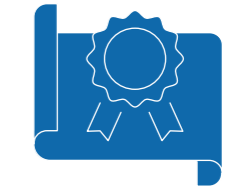
課長(一般/上級)

19%

部長以上

2%

新卒3年目以上の職員の約21%が課長以上に昇進しています。豊富な研修プログラムと教育制度に基づき、目に見える成長を組織全体でサポートしています。



for優キッズサポート支給総額

約 **64** 万円

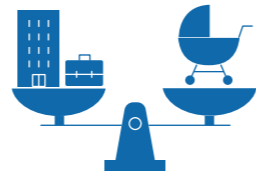
for優キッズサポートとは、無認可保育園の保育費の一部を法人が負担する制度です。職員の育児の支えとなれるように導入し、ママさん職員に利用を推奨しています。



育休を経た現場復帰率

91%

職員の復帰を希望する声は喜んで受け入れており、現在もママ、パパとして育児と両立しながら活躍している職員も多くいます。



管理職の男女比

男性 **48%** 女性 **52%**

課長以上の女性管理職の比率が5割以上。要職への女性登用を積極的に行っています。



取得認定マーク



えるぼしマーク

女性活躍推進に積極的に取り組んでいる優良な企業に与えられる認定制度です。



くるみんマーク

「子育てサポート」企業として、厚生労働大臣の認定を受けた証です。



トモニンマーク

「仕事と介護を両立できる職場環境」の整備促進のためのシンボルマークです。

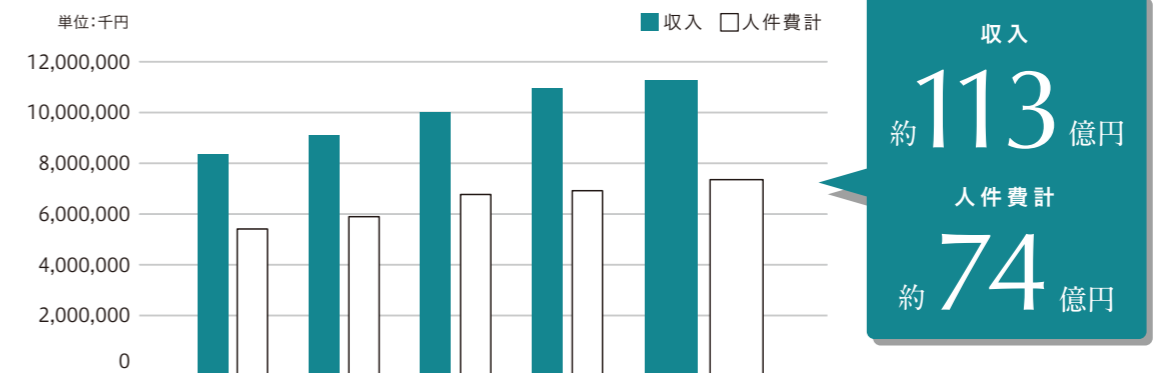


TOKYO働きやすい福祉の職場宣言

働きやすい職場づくりに取り組んでいる事業所であることをアピールするマークです。

業績推移 / 人件費計推移

事業拡大に伴い、奉優会はこれまで順調に業績を拡大してきました。そして共に働く職員の数も年々増加しています。今後も中長期計画に基づき、地域に求められる事業をより展開していく予定です。



2024年2月1日時点

法人概要

法人名 社会福祉法人奉優会 (ほうゆうかい)

理事長 香取 寛

管理本部所在地 〒154-0012 東京都世田谷区駒沢1-4-15 真井ビル5階 TEL: 03-5712-3770 FAX: 03-5712-3771

売上高 113億円 (2022年度実績) 105億円 (2021年度実績) 100億円 (2020年度実績)

職員数 2,772名 (2024年2月1日時点)

設立年月日 平成11年11月15日

新卒採用担当連絡先 jinji-recruit@foryou.or.jp

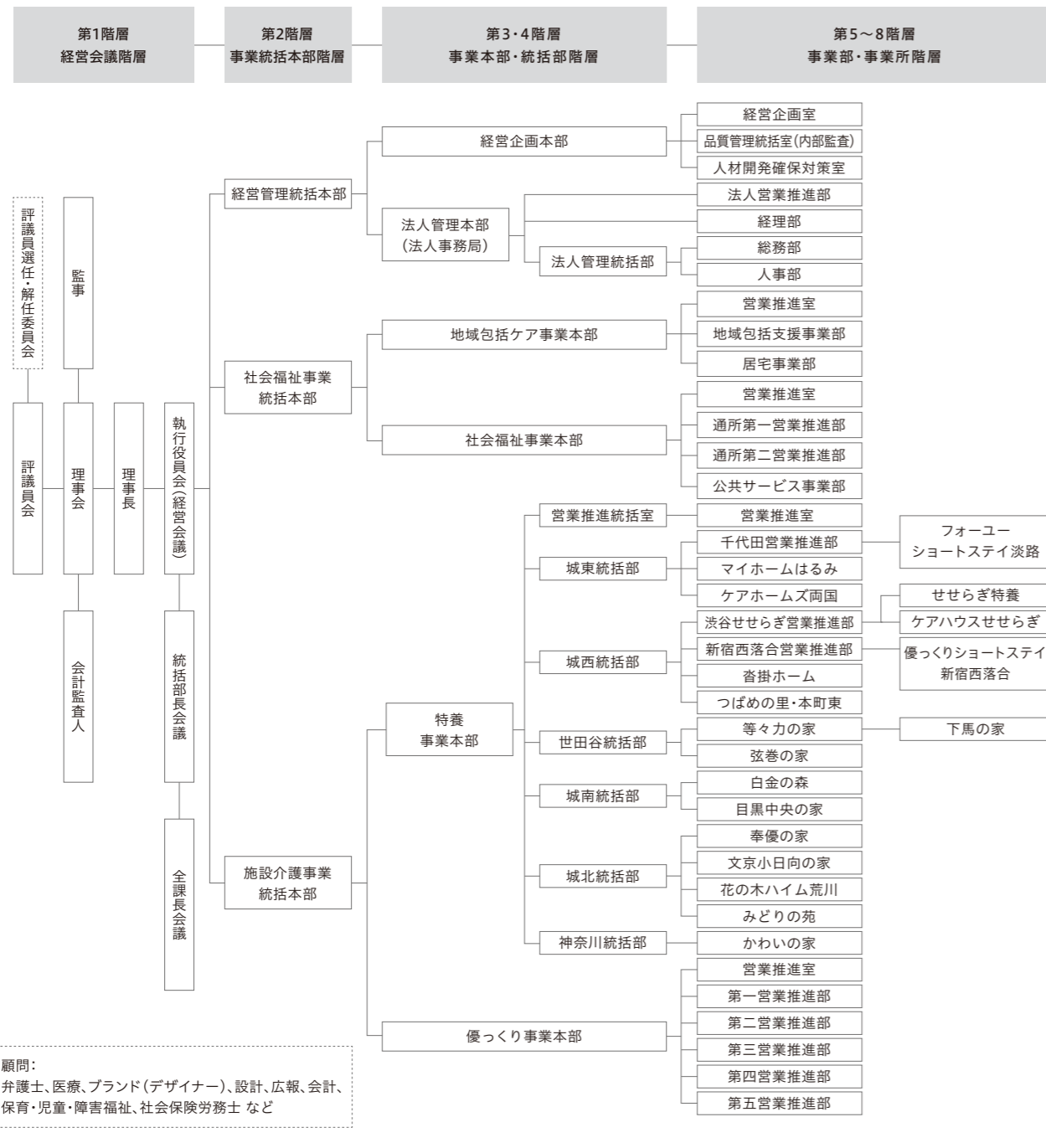
沿革一覧はこちらから



リクルーティングサイトはこちらから



事業体制



社会福祉法人 奉優会
理事長 香取 寛

自分の変化を肯定しながら
社会を変えていく力が、
これからの福祉を作り続ける。

ご利用者も職員も、
一人ひとりの
その人らしさをカタチに

皆さんは「福祉」に、どんなイメージを持っていますか？
「福祉＝介護」と捉える方も多かもしれませんが。しかし、
私たち奉優会は、「福祉を「普通」に暮らせる幸せ＝ふくくし」
を実現することだと考えています。
今の社会は選択肢が多く、「普通」や「幸せ」の形も多種多様
です。「答えがない社会」において、「今、何ができるか」
「何をすべきか」を敏感に捉えて多角的・多機能的に対応
する力が求められています。そして、この「答えがない社
会」だからこそ、奉優会は一人ひとりの「その人らしさを
カタチに」できる柔軟な組織であり続けたいと考えてい
ます。これは「ご利用者だけでなく、奉優会で働く職員一人
ひとりも同様に」その人らしさをカタチに「するために、
それぞれが過去の習慣や歴史に捉われず、多様化する社会
の変化に応じられるソーシャルアントレプレナーとして
自分を変えていくことが必要です。そして、自分の変化や
違いを肯定しながら、住み慣れた町で暮らす人々が抱える
さまざまな悩みに寄り添い、安心・健康・幸福を中心とした
社会に変えていく力が、「これからの福祉」を作り続けると
考えています。



皆で力を合わせれば、
これからの福祉は世界へ届く

私たち奉優会では「Action by Globalization」をスロー
ガンに掲げています。これは、グローバルな視野とローカル
な視点を融合させた考え方で、地球規模で考え、足元から
行動する力を養うことです。
皆さんが社会に出ると、自分のできることが小さく感じら
れることがあるかもしれません。しかし、それは自分の見え
る世界の広さによるものです。地球規模で考えると、その
小さなことを必要とする人がいて、大きな価値を生みます。
どんなことにも価値があり、それを一人ひとりが安心して、
健康的で幸せに暮らせる仕組みづくりやサポートやサー
ビスを提供することが私たちのミッションです。一人ひとり
がソーシャルアントレプレナーとして活躍し共に革新でき
れば、私たちの「これからの福祉」はきっと遠くまで届くで
しょう。
私たちの法人理念は、「地域の人が育つことで生活が革新
する」という仕組みを世界で発信していくことです。
皆さんらしさをカタチにして、奉優会で一緒に「これからの
福祉」を自分らしく発信していきませんか？そして、日本
国内だけでなく、世界各地で生き難さを感じている
人たちの生活の営みそのものを革新できるよう努力し、社
会福祉の変革をリードするユニコーンとして未来を創造し
ていきましょう。
皆さんと志を共にし、「一緒に働ける日を心待ちにしています。